



YOKOSUKA CITY GUIDE ASSOCIATION

9号

NPO 法人よこすかシティガイド協会

黒船

発行：NPO法人よこすかシティガイド協会
 発行日：令和5年9月30日
 責任者：理事長 小舟 浩治
 編集：会報編集チーム リーダー 小舟浩治
 URL: <http://yokosuka.kankoh-guide.com/>

HP QR コード

二十周年を越えて（その2）

理事長 小舟 浩治



今年五月より、前任の篠原理事から理事長を引き継ぎました小舟浩治です。どうぞよろしくお願ひします

前理事長の下、会員の総力を挙げて取り組んできました記念事業の成果を報告いたします。

先ず、ガイドブックは「風に吹かれて散歩みち」という書名で九月一日から書店で販売が開始されました。執筆者五十一人、編集者十人毎月の編集会議を重ねて完成したものです。

その内容は前号でも紹介しましたとおり、コンパクトサイズで手に持って地図のとおり歩けば、迷わず、見落としもなく、楽しんでいただくための情報が満載です。

ネット販売を含めて十五の書店で販売する一方、このガイドブックをできるだけ多くの人に利用して頂くため、横須賀市内の学校、図書館、コミセン図書室に進呈すると共に、近隣市町役所の観光担当課、図書館、かながわガイド協議会登録団体、新聞社など合計百五十七の施設に順次送付しています。



もうひとつはホテル宿泊客を対象とした「シティガイドとよこすか散歩」は六月から開始。横須賀市内六つのホテルでは、ホームページで紹介して頂いています。まだ認知度が低いため、六月から八月の三カ月で六回催行、各回一から二名のゲスト参加という状況です。

今年度に入ってから、新会員の募集に取り組み、八月に説明会を四回開催し、合計二十七人の参加

を得ました。そのうち二十三人から十月から始まる半年間の研修への参加登録を頂きました。全員七十歳未満とのことなので、まだ在職中の方が多いのではないかと思われます。研修は土曜と日曜に行いますが、研修を終了してガイドとしての活動が始まれば、勤務と当会の活動とをどのように両立させて行くか、いろいろと苦労があるかと思ひます。

これからも当会の活動の充実と発展を図るには、仕事を持った会員も無理なく参加できるようにチームワークによる組織的運営体制にしてゆかねばなりません。ガイドブックに掛けた熱意を、今は来年度から新しい運営体制に移行するため、理事一同奮闘しているところであります。次号ではその成果を発表できるでしょう。

「風に吹かれて散歩道」進呈先

進呈先	施設数
横須賀市内 小、中、高等学校	87
大学等	6
横須賀市内図書館	4
コミセン等図書室	12
近隣市町役所および図書館	13
かながわガイド協議会登録団体	22
新聞社等メディア	13
合計	157

■横須賀の名所紹介(第2回)

「三浦一族の故郷を歩く」 浅場 靖弘

昨年大河ドラマ「鎌倉殿の13人」の中で主人公の北条義時の盟友で鎌倉幕府の重鎮三浦義村の活躍をご覧になった方も多いと思います。鎌倉幕府の中でも特に源頼朝の正室で「政子」と呼ばれる女性の実家北条氏と並んで幕府運営に協力したのが三浦一族です。その故郷は横須賀の衣笠、大矢部地域にあります。

衣笠城址

康平6(1063)年、前九年の合戦で勲功を挙げた村岡為通が源頼義から恩賞として相州三浦を与えられ為通は所領の地名を氏とし「三浦為通」と名乗り三浦氏初代となりました。為通は所領の中心に城を造り、これが衣



衣笠城址 物見岩

笠城です。衣笠城を有名にしたのは治承4(1180)年源頼朝の挙兵に賛同し、平家方の河越重頼・江戸重永・四代義明の外孫畠山重忠など3,000騎と戦った「衣笠合戦」で、時の三浦方の兵力は450騎といわれています。

満昌寺

頼朝の鎌倉幕府創設の礎として自害した四代大介義明の菩提を弔う為に建久8(1197)年源頼朝が建立したと伝えられます。頼朝が家臣の為に寺を建てたのは三浦一族だけです。石橋山の合戦では北条宗時も討ち死にしていますが、頼朝が宗時の寺を建てた形跡はありません。他には、石橋山で戦死した大介義明の甥、佐奈田義忠の為に證菩提寺を建立しています。



満昌寺山門

満昌寺本堂の裏手には義明の孫の和田義盛が建暦2(1212)年に建てたといわれる御霊神社があります。今は社殿と宝物殿を兼ねた造りになっています。ここに大介義明の座像(国指定重要文化財 高さ76cm)が祀られております。さらにその裏手には大介義明夫妻の墓といわれるものがあります。

近殿神社

祭神は三浦氏6代三浦義村です。大介義明の孫で義澄の嫡男とされます。将軍頼家の時代に梶原景時を

倒し、三浦氏を幕府の中でも北条氏に次ぐ地位に盛り立て、和田合戦では従弟の和田義盛を裏切り、又幕府の危機といわれた承久の乱では倒幕方に加わった三浦一族を殺すなど、北条氏に忠誠を尽くしました。こうして北条氏の信頼を得た義村は三浦氏最盛期の人物といえます。神社のご神体は高さ30cm程の義村の座像で一木造りのこの像は江戸時代のものでいわれています。近殿神社と義村の名前の由来については、鎌倉幕府に近い殿、衣笠城に最も近い殿などの説があります。

薬王寺跡

仏頂山薬王寺、建暦2(1212)年和田義盛の父杉本義宗の50回忌、叔父三浦義澄の13回忌に建立したと伝えられます。和田義盛の父義宗は長寛元(1163)年に安房の長狭常判を攻めましたが深手を負い39歳で亡くなりました。三浦義澄の墓と伝えられるものがあり



三浦義澄の墓

ます。薬王寺は明治8年に廃寺となり、民間に払い下げられましたが、大正3年に火事になり焼失しました。

清雲寺

開基は三浦氏3代目義継が父為継の菩提を弔う為、天永2(1110)年に建立したとされます。三浦為継は後三年の合戦(永保3 1083年)に源義家(八幡太郎)に従い活躍した人物です。

ご本尊は木造瀧見観音菩薩像で平成10年6月に国指定の重要文化財に指定されています。元は円通寺のご本尊でしたが、円通寺は廃寺となり江戸末期に清雲寺に移されたといわれます。清雲寺のもとものご本尊は県指定重要文化財の毘沙門天で、和田合戦の際に和田義盛に向かって来る矢を払いのけたので「矢受けの毘沙門」といわれています。

腹切り松公園

治承4(1180)年8月27日三浦大介義明は衣笠城の落城と共に城を出て祖先が眠る清雲寺に参詣した。円通寺に向かう途中大松を通りかかった時、愛馬の黒雲がビクとも動かなくなり、ここが運命の場所と悟った義明は壮絶な自刃をして果てたと伝えられる。現在の松は何代目か不明だが地元の人達に大事にされている。

【賛助会員募集】

よこすかシティガイド協会の活動に理解をお持ちで、当協会を後援していただける個人及び団体の賛助会員を募集しています。
年会費 個人1口3,000円・団体1口5,000円 詳細は電話090-2663-6003(理事長 小舟 浩治)まで

2024年度3月までのガイドツアー予定

No.	企画ガイドツアー名	実施日	募集締切	集合場所/解散場所
2023-17	名勝森戸海岸から六代御前の墓を経て延命寺へ	10/14(土)	10/6(金)	滝の坂バス停/(京急線)逗子葉山駅
2023-18	子安の里、立石の潮騒、そして浄楽寺運慶仏拝観	10/19(木)	10/11(水)	JR逗子駅/浄楽寺バス停
2023-19	Yフェスタおっぱまと夏島見学会	10/29(日)	10/18(水)	(京急線)追浜駅/追浜駅周辺散策
2023-20	北斎ゆかりの古道を歩く	10/27(金)	10/19(木)	(京急線)北久里浜駅/燈明堂入口バス停
2023-212	どうする浦賀!家康の夢・按針の想い	10/28(土)	10/20(金)	(京急線)浦賀駅/逸見駅
2023-22	浦賀みちに続く金沢道を歩く1	11/3(金)	10/26(木)	(京急線)金沢八景駅/上大岡駅前アーケード
2023-23	観音みちから佐島の海と丘を巡る	11/14(火)	11/7(火)	(京急線)三崎口駅/大楠芦名口バス停
2023-24	陣屋を偲ぶ大津ぐらり旅	11/16(木)	11/8(水)	京急大津駅/京急大津駅周辺散策
2023-25	江戸東京湾口の海防地帯を歩く!	11/18(土)	11/10(金)	(京急線)浦賀駅/走水上町バス停
2023-26	晩秋の名越切通から元八幡へ	11/20(月)	11/13(月)	JR逗子駅/元八幡
2023-27	浦賀に今も残る鏝絵・彫刻巡り	12/2(土)	11/22(水)	(京急線)浦賀駅/紺屋町バス停
2023-28	ワンダフル!絶景の台地を歩いて半島横断	12/12(火)	12/1(金)	(京急線)津久井浜駅/ソレイユの丘バス停
2023-29	北下浦の水仙ロードを歩く	12/16(土)	12/7(木)	京急久里浜駅/京急長沢駅
2023-30	常福寺の地獄極楽図拝観と東西浦賀の初詣	1/16(火)	1/9(火)	(京急線)浦賀駅/浦賀駅周辺散策
2023-31	古事記のふるさと走水と走水神社・美術館へ	1/17(水)	1/10(水)	(京急線)馬堀海岸駅/横須賀美術館バス停
2023-32	新春の三浦一族仏像巡り	1/25(木)	1/18(木)	衣笠城址バス停/岩戸バス停
2023-33	スイセンの花が咲き誇る城ヶ島から昭和レトロの三崎の街へ	1/28(日)	1/19(金)	京急三崎口駅/城ヶ島バス停
2023-34	浦賀から走水を巡り会津藩士の歴史を辿る	2/3(土)	1/25(木)	(京急線)浦賀駅/浦賀駅周辺散策
2023-16	古事記に見る弟橘媛を、古東海道走水に訪ねる	2/10(土)	2/2(木)	京急大津/走水神社バス停
2023-35	観音崎の砲台跡巡り	2/20(火)	2/13(火)	観音崎バス停/走水上町バス停
2023-36	河津桜と鎌倉幕府初代別当和田義盛ゆかりの地へ	2/21(水)	2/14(水)	(京急線)三浦海岸駅/宮田バス停
2023-37	山と海と歴史を楽しめる追浜を満喫	3/2(土)	2/22(木)	(京急線)追浜駅/追浜駅周辺散策
2023-38	野比の里山から水辺公園へ	3/16(土)	3/8(金)	(京急線)YRP野比駅/京急長沢駅
2023-39	古の合戦みちから観音みちを歩く	3/21(木)	3/14(木)	(京急線)三崎口/荒崎バス停
2023-40	走水水源地公園の桜と浦賀水道航路の船	3/23(土)	3/15(金)	(京急線)馬堀海岸駅/観音崎バス停

申込み方法については協会ホームページをご覧ください。

なお、集合・解散場所については変更もございます。

「よこすかシティガイド協会」ホームページ <http://yokosuka.kankoh-guide.com/>

建物歴史探訪研究部会紹介

吉田洋子

今年は関東大震災から百年の年。横須賀でも土砂崩れや家屋の崩壊など大きな被害があり、震災復興として多く建てられたのが看板建築と言われる商店です。看板建築は銅板やモルタルなどで装飾的に見せながら防火の役目も果たしました。上町の看板建築をご覧になったことがあるでしょうか。装飾も見事に残されています。上町のように装飾まできれいに残ってはいないけれども、追浜にも大津にも浦賀にも、看板建築の形は意外と多く残っています。横須賀製鉄所から始まったと言われる近代の横須賀には、看板建築だけでなく、歴史的に大きな意味を持つ近代建物も多く残されています。

そこで、近代の建物を中心に詳しく調べてみたいという仲間が集まり、令和二年三月に研究部会を発足させました。昨年度は相模運輸倉庫(田浦)やテイボデイエ邸の研修を実施し、今年度は横浜みなとみらい地区を散策しました。博物館の方々などにお世話になりつつ、活動範囲を広げることを模索中です。

ガイドブック編集裏話

富澤 武夫

九月に入り市内のB書店に行ってみると郷土誌のコーナーに当会のガイドブック積んでありました。ネットを検索すると、アマゾンや楽天のサイトにも掲載されていて、初めて発行の実感がわいてきました。本自体は七月に刷り上がって会員には配付済みでしたが、九月一日発売なので、いよいよこれから一般の街歩きファンの皆さんの手に届くのかと思うと、約一年の編集作業のあれこれがい思い出されてきました。そのひとつ、コラムのイラストのことです。

出版社のデザイナーに頼んでも良かったのですが、なるべく自前で作成する。また会員の隠れた才能を活用したいという趣旨でイラスト協力を公募したところ三人の名前が挙がってきました。一人目は軽いタッチの水彩画で挿絵にはピッタリでしたが、会員の「親族で既に亡くなった方とのこと。文章に合わせて新しいものを描いてもらう訳にはいかない状況でした。二人目の作品は抽象的な画像なので文章の挿絵には向かないけれど、センスが良いので表紙とか別の

ところに活用させてもらうことにしました。そして三人目の作品はほぼ漫画であり使いそうなので、会員の親族でしたがこの人に決めました。

コラム原稿がいくつか出来上がって試作を依頼したところ、面白い図柄の作品があがってきました。最初は線画だったのでやはり軽いかない思いましたが、図案が固まってグレーの濃淡が付けられてくると、これがピタッと紙面に収まってきたから不思議です。最後まで図柄が決まらず苦労したのが「三浦半島の土地利用」というコラムでした。話しが大き過ぎてイメージが作り難かったのです。結局、冒頭の一節をとって縄文人が三浦半島を見下ろしている構図に決めました。ものによっては、人物をもう少し上に、ドックは下から見上げてなど細かい注文を沢山出しましたが、見事に注文に添えていただきました。いろいろ苦労も有りましたが、五十年程前、会社に入社して一年目で社内報の編集をやらされた時の記憶が蘇って、ノイギャラですが半ば楽しみながら出来たのが幸いでした。三十周年は若手(?)の皆さんにお任せしたいですね。

シティガイドとよこすか散歩

大澤 美恵子

情報通信白書によると二〇二二年のインターネット個人利用率は八二・九％、パソコン四八・一％、スマートフォン六八・五％(内スマホのみ利用五二％)とパソコンを使わない人が増えています。この社会環境の変化に対応し開始したのが「シティガイドとよこすか散歩」です。

新しいシステムを使った新しいサービスゆえ、対象を提携ホテルのご宿泊客に絞り、連絡の行き違いを最小化するため「専用サイトから二日前までに予約」とお願いしています。ありがたいことにサービス開始時点でメルキュール、セントラル、ハーバー、ホテル横須賀グループ(3店舗)と、横須賀中央地区にある6つのホテルにご賛同いただき、各ホテルのホームページなどでも告知のご協力をいただいています。

近年は働くシニアが増えており、ガイドチームも集まっていたの会議が難しい状況にあります。現在、チームのコミュニケーションの中心はLINEのグループトーク。様々な点で「新しい」実証実験となっています。

よこすか散歩のガイドの経験

岡田由美 小松原いずみ

二十周年記念事業の一環として、六月から始まったホテル宿泊客向けツアー「みなと横須賀ハイライトコース(中央コース)」を案内しました。以前にも何度か歩いたことのあるコースでしたが、新たな発見を楽しみながら、仲間と準備を進めました。

ツアーは、汐入駅の改札口でお客様を迎え、そこからツアー最終地点の三笠公園までの時間配分を考えながらスタート。艦船に関心があり、戦艦陸奥の主砲を熱心にご覧になるお客様や、私たちの説明によって新たな視点で横須賀を楽しんでいただけたお客様もいました。また、「暑いので手短でいいですよ」というお客様からの温かい配慮も嬉しいものでした。

お客様からの新たな発見も多く、今後のガイド活動に活かせることが多々ありそうです。このツアーが広く知られ、参加した方々に楽しい思い出を提供する機会が増えることを願っています。そして、私たち自身も楽しみながらガイド活動を続けていきたいと考えています。

【賛助会員募集】

よこすかシティガイド協会の活動に理解をお持ちで、当協会を後援していただける個人及び団体の賛助会員を募集しています。年会費 個人1口3,000円・団体1口5,000円 詳細は電話 090-2663-6003 (理事長 小舟 浩治) まで